

応募のご案内

組織・人材の能力・活力を引き出す

経営・マネジメント支援活動、実践理論・研究活動を表彰します

2020年度 全能連 マネジメント・アワード

All Japan Federation of Management Organizations
Management Awards

全能連マネジメント大賞

コンサルタント・
オブ・ザ・イヤー
Consultant of the Year

インストラクター・
オブ・ザ・イヤー
Instructor of the Year

AFMO
MANAGEMENT
AWARD
2020

アカデミック・フェロー・
オブ・ザ・イヤー
Academic Fellow of the Year

プログラム・イノベーター・
オブ・ザ・イヤー
Program Innovator of the Year

後援：経済産業省

主催：



公益社団法人

全日本能率連盟

全能連 マネジメント・アワードとは



「全能連マネジメント・アワード」とは、公益社団法人 全日本能率連盟（全能連：AFMO）が主催し、経営・マネジメントに携わる専門家・プロフェッショナル、研究者・技術者などを対象に、その年の経営・マネジメント改善・改革に関するコンサルティング、教育・研修、理論研究、さらには産業界に貢献した事業などの実践事例・研究活動を所定の項目により審査を行い、4つの「オブ・ザ・イヤー」ならびに特別賞を選出した上、それらの受賞者の中から最優秀者に**全能連マネジメント大賞**を贈呈する制度です。

一般企業をはじめ各種法人・団体や自治体などの組織において、経営・マネジメントの改善・改革活動、人材育成・能力開発、産業振興、ダイバーシティ・グローバル対応などの諸問題・課題に対して、組織の内・外から支援している経営コンサルタント、スペシャリスト、インストラクター、プロジェクトリーダーなどの方々の実践活動および、研究機関や企業・団体の企画・調査・研究部門等の研究者・技術者や専門大学院教員・学生などの方々のマネジメント・経営診断などに関する実践的な理論の研究活動も対象です。

全能連は、「経営の科学化」を推進し「健全な産業人材」の育成を通じて、我が国経済のさらなる活力を引き出すことを目的としています。本アワードにおいて、秀逸かつ先進的な実践支援活動や理論の研究を表彰し、広く産業界で共有し交流を促すことでその目的を達成しようとするものです。

すでに関連業界でご活躍の皆様も、これから更なる躍進を目指す方々も、年に一度の栄誉ある称号と奨励金を目指してご応募ください。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

全能連マネジメント大賞と 4つの「オブ・ザ・イヤー」とは…



全能連マネジメント大賞



コンサルタント・オブ・ザ・イヤー / *Consultant of the Year*

マネジメント・コンサルタントとしての経営指導・提言を通じて経営改善の成果を上げた事例に対し、その実行者/グループを表彰いたします。



インストラクター・オブ・ザ・イヤー / *Instructor of the Year*

研修インストラクター、講師、研修企画者として、独創的な研修・教育プログラム等を実施し、経営改善に成果を上げた活動に対し、その実行者/グループを表彰いたします。



アカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤー / *Academic Fellow of the Year*

マネジメントに関する理論を研究した大学教員・学生/研究者・技術者/グループに対し授与されます。



プログラム・イノベーター・オブ・ザ・イヤー / *Program Innovator of the Year*

研修、イベント、国際規格標準化など、企画・プログラムそのものが成果を上げ、産業界にインパクトをもたらした事業開発・推進者/グループに対して授与されます。



各種特別賞 / *Special Award(s)*

- ・今日的・時代性のあるテーマへの取り組み事例/研究等
- ・若手の意欲的な取り組み/活動/企画
- ・グローバルな展開が期待できる 等

特筆される応募内容に対して、奨励の意を込め特別賞が授与される場合があります。

審査概要

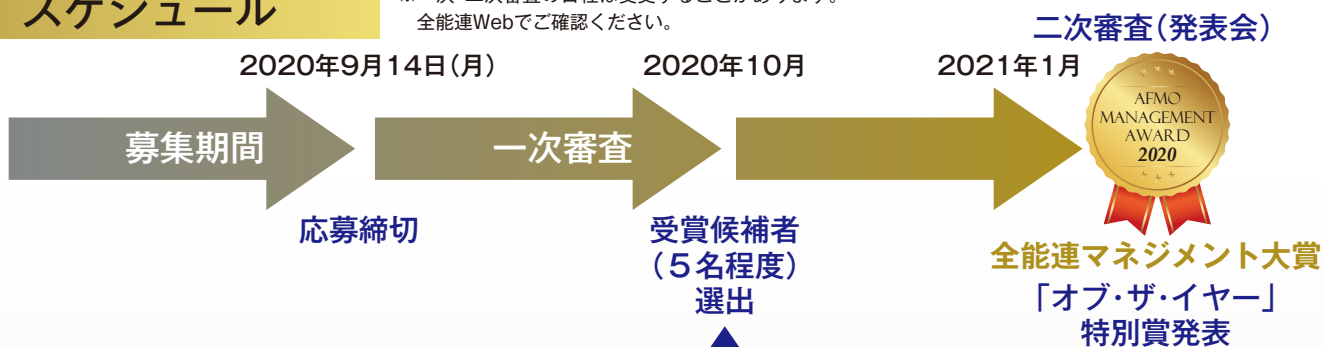
一次審査では下記の審査項目をもとに厳格な審査のもと、受賞候補者(5名程度)を決定いたします。

二次審査(発表会)では下記の審査項目に「プレゼンテーション」項目が加わり、一次審査で選出された受賞候補者の中から、「オブ・ザ・イヤー」「特別賞」ならびに『**全能連マネジメント大賞**』を決定いたします。

各賞受賞者には、荣誉ある称号とともに、副賞として総額100万円の賞金または賞品が贈られます。

スケジュール

※一次・二次審査の日程は変更することがあります。
全能連Webでご確認ください。



審査項目

一次審査、二次審査の内容ならびに審査項目の詳細については本アワードの「募集要領」をご覧ください。

【一次審査項目】

1. 独創性・革新性
2. 実行性・有効性
3. 実証性・客観性
4. 普及性・発展性

【二次審査項目】

1. 独創性・革新性
2. 実行性・有効性
3. 実証性・客観性
4. 普及性・発展性
- +
5. プレゼンテーション

『全能連マネジメント・アワード』審査委員会

※2020年2月現在 順不同

名誉委員長	野中 郁次郎	一橋大学 名誉教授
委員・議長	長谷川 隆	株式会社日本能率協会マネジメントセンター 代表取締役会長 公益社団法人全日本能率連盟 副会長
委員	平川 保博	東京理科大学 副学長
	首藤 禎史	大東文化大学 経営学部 教授
	石山 恒貴	法政大学大学院 政策創造研究科 教授
	西原 文乃	立教大学 経営学部 国際経営学科 准教授
	神奴 圭康	株式会社日本能率協会コンサルティング 常任顧問 シニア・コンサルタント
	相良 善朗	公益財団法人日本生産性本部 主席経営コンサルタント
オブザーバー	岡田 匡令	淑徳大学 名誉教授(日本経営診断学会 顧問)
	能村 幸輝	経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室 室長

応募方法

応募締め切り	2020年9月14日(月) 必着
応募方法	<ul style="list-style-type: none">● 所定の応募用紙(Word様式)を全能連ホームページからダウンロードし、必要事項をご記入の上、E-mailにて下記事務局宛にご提出ください。● 応募内容のアピールポイントの証左となる各種資料(論文、レポート他著作物、成果が広報されたものなど)を添付してください。(別途郵送でも可)● 応募用紙に付随する「応募条件・権利規定および応募に関する諸注意」書に同意のうえご応募ください。
応募対象	<ul style="list-style-type: none">● 本アワードの各賞・審査項目に該当するプロジェクト・プログラム・研究活動等の実行者(複数名の場合は代表者等)、企画・開発者、研究・技術論文執筆者などで、公共・福祉サービス、大学院・研究機関等も含めて、業種・職種は問いません。● 自薦・他薦は問いません。グループ/団体の応募も受け付けます。● 応募する事業や研究等が、他で表彰されたものでも応募できます。● 応募者は、2021年1月開催予定の二次審査(発表会)に登壇することを前提としてご応募ください。● 二次審査(発表会)後、各賞受賞者の氏名、応募テーマや発表風景映像などを全能連ホームページやパンフレット等で公開されることを前提としてご応募ください。
対象期間	<ul style="list-style-type: none">● 直近3年以内(プロジェクト/プログラム/研究等の企画・開発段階から応募時の成果発現まで)とします。
その他	<ul style="list-style-type: none">● 応募後の審査にあたり、内容に関するお問い合わせや補足資料の提出などをお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。● ご提出いただいたデータ・資料は原則としてご返却いたしません。● 一次審査結果(2020年10月予定)については、個別にご連絡いたします。二次審査結果は、発表会当日に発表いたします。● 個人情報の取り扱いについては、全能連ホームページ掲載の「個人情報保護に関する基本方針」をご参照ください。

「募集要領」「応募用紙」のダウンロードや二次審査(発表会)等の日程等は、全日本能率連盟ウェブサイトにて随時ご案内いたします。



公益社団法人

全日本能率連盟

お問い合わせ先: 『全能連マネジメント・アワード』事務局

全能連

検索

全能連Web: <https://www.zen-noh-ren.or.jp/>

E-mail: award@zen-noh-ren.or.jp TEL: 03-3221-5051(平日9:30-17:30)

〒102-0082 東京都千代田区一番町4-5 ニューライフ一番町203号室